

チャイルドシートの肩ベルトによる子供の負傷を防止するための 注 意 喚 起

国土交通省では、これまでも肩ベルトの適切な調整等、チャイルドシートの適切な使用方法について自動車ユーザーへ注意喚起を行ってきたところですが、今般、子供の体がチャイルドシートの外に出てチャイルドシートの肩ベルトが首にかかった状態になる事案が発生しました。肩ベルトが適切に調整されておらず緩んでいたために、子供が抜け出せたこと及び子供を車内に一人に残していたことが、本事案の発生原因として考えられます。

つきましては、あらゆる機会をとらえ、自動車ユーザーに対して下記事項について注意喚起を行っていただきますようお願いいたします。

なお、自動車ユーザーに対する注意喚起用のチラシを、広島県自動車整備振興会ホームページへ掲載しましたので、必要に応じご活用ください。

記

【チャイルドシートの肩ベルトによる子供の負傷防止に関する注意事項】

- ・ 肩ベルトがお子様の身体にフィットしているかきちんと確認しましょう。
 - ✓ 肩ベルトの高さは、お子様の成長に合わせて調整して下さい。
 - ✓ お子様を乗せる度に、必ず肩ベルトの緩みを取り、お子様の身体にフィットするように肩ベルトの長さを調整して下さい。
 - ✓ 詳しい調整方法は、それぞれのチャイルドシートの取扱説明書で再度確認して下さい。
- ・ 小さなお子様を車内に一人にするのは危険ですので、くれぐれも、お子様を置いて車から離れないで下さい。

※ 掲載場所 <http://www.hasp.or.jp/shinkoukai/index.htm> →「広島県自動車整備振興会ホームページへ」→「HASPnews10月号」→「チャイルドシートの肩ベルトによる子供の負傷を防止するための注意喚起チラシ」

チャイルドシートの肩ベルトの調整を忘れずに！

～お子様がチャイルドシートから抜け出し、チャイルドシートの肩ベルトが首にかかって負傷する事故が発生しました～



～事故状況～

店舗駐車場において、子供（月齢11ヶ月）をチャイルドシートに乗せたまま車内に残して車を離れ、その後、車に戻ると、子供の体がチャイルドシートの外に出て、チャイルドシートの肩ベルトが首にかかり、命に関わる危険な状態となりました。

- 肩ベルトがお子様の身体にフィットしているかきちんと確認しましょう。
- ※ 肩ベルトの調整がされていない場合、お子様が抜け出し危険な状態となるだけでなく、事故が生じた際にお子様がうまく保護されない危険性があります。

- ！ 肩ベルトの高さは、お子様の成長に合わせて調整して下さい。
- ！ お子様を乗せる度に、必ず肩ベルトの緩みを取り、お子様の身体にフィットするように肩ベルトの長さを調整して下さい。
- ！ 詳しい調整方法は、それぞれのチャイルドシートの取扱説明書で再度確認して下さい。

- 小さなお子様を車内に一人にするのは危険ですので、くれぐれも、お子様を置いて車から離れないで下さい。



国土交通省



クルマの異常を、速ラクダ！
自動車不具合情報

ホットライン

クルマの不具合情報をお寄せ下さい

ホームページ受付：http://www.mlit.go.jp/RJ/

フリーダイヤル：0120-744-960

24時間音声受付：03-3580-4434